

- 問1 1920年に設立された国際連盟に、日本はどのような立場で参加したか？
- 問2 米騒動が全国的に広がった結果、辞職に追い込まれた当時の内閣を何という？
- 問3 1919年、日本の植民地支配に対して朝鮮半島全域で起こった大規模な独立運動を何という？
- 問4 ガンディーが指導したインドの独立運動において、イギリスによる塩の専売に抗議して行われた象徴的な行動を何という？
- 問5 大正時代から昭和初期にかけて、国民が人間らしく生きる権利を保障するために掲げられた権利を何という？
- 問6 雑誌『青鞥』の創刊号で、女性の目覚めを象徴する言葉として使われた天体は何？
- 問7 シベリア出兵の影響などにより米価が急騰し、全国規模で発生した暴動を何という？
- 問8 すべての民族が自らの政治的立場を自分たちで決定すべきだとする、ウィルソンが掲げた原則を何という？
- 問9 1918年、ロシアで起きた社会主義革命に干渉する目的で、日本を含む列強が軍隊を派遣したことを何という？
- 問10 1911年、女性の地位向上と自由を求めて結成された文芸結社の中心人物は誰？
- 問11 1918年に物価高騰に苦しむ富山県の主婦らを中心に始まった、全国的な暴動を何という？
- 問12 新聞やラジオ、雑誌のように、情報を多くの人々に伝える手段を何という？
- 問13 加藤高明内閣のもとで、納税資格が撤廃され普通選挙が実現したのは何年？
- 問14 第一次世界大戦後に提唱された民族自決の原則の影響を受け、1919年に朝鮮で発生した大規模な独立運動を何という？
- 問15 1918年に米価が急騰し、大規模な暴動が発生した原因となった、日本が軍隊を海外へ派遣した出来事を何という？
- 問16 大正時代、平塚らいてうが先導した、女性の社会的地位の向上と性差による差別からの解放を目指す運動を何という？
- 問17 日英同盟の解消と同時に太平洋地域の安全保障を目的に結ばれた条約を何という？
- 問18 1922年の全国水平社結成時に中心的な役割を果たした人物は誰？
- 問19 1919年に制定されたドイツのワイマール憲法で、世界で初めて保障された権利を何という？
- 問20 第一次世界大戦後に、平和原則として提案された14項目からなる構想を何という？
- 問21 第一次世界大戦の講和会議として開かれ、ドイツの賠償金や国際連盟の設立を決定した1919年の条約を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 常任理事国	1920年に発足した国際連盟において、日本は五大国の一角として常任理事国を務めました。これは、日本が世界的に影響力を持つ強国として認知されていたことを意味します。
問2	答え 寺内正毅内閣	1918年に富山県で始まった米の安売りを求める運動は、全国的な暴動に発展しました。寺内正毅内閣はこの混乱を抑えることができず、最終的に責任をとって総辞職しました。
問3	答え 三・一独立運動	1919年3月1日、朝鮮の独立を求める宣言書が発表されたのを機に、京城から全土へとデモが拡大しました。学生や市民が「独立万歳」を唱えて行進しましたが、日本の警察や軍隊によって厳しく弾圧され、多くの犠牲者が出ました。
問4	答え 塩の行進	1930年、ガンディーは数百キロの道のりを歩いて海岸まで行き、自ら海水を煮て塩を作る「塩の行進」を行いました。これはイギリスの植民地支配に対する静かながら強力な抵抗の意思表示であり、インド全土の民衆を勇気づけました。
問5	答え 生存権	生存権とは、国民が「健康で文化的な最低限度の生活」を送る権利のことです。大正時代から人々の権利意識が高まり、後に日本国憲法にも盛り込まれました。この権利は、生活を維持するための公的な支援や、労働条件の改善を求める根拠となりました。
問6	答え 太陽	平塚らいてうが『青鞥』創刊号に寄せた宣言文で、「元始、女性は実に太陽であった。真実の人であった。今は、女性は月である」と述べました。これは、古代には女性が自由な存在であったことを示し、失われた権利を取り戻そうとする決意を表しています。
問7	答え 米騒動	1918年、富山県の漁村から始まった主婦を中心とする「米を安く売れ」という運動は、瞬く間に全国へと広がりました。多くの人が米屋や豪商を襲撃する暴動に発展し、軍隊が出動するほどの事態となりました。この混乱は、当時の寺内正毅内閣の退陣を決定づける要因となりました。
問8	答え 民族自決	アメリカのウィルソン大統領が十四か条の平和原則の中で提唱しました。力による支配を否定し、各民族が自らの意思で独立や政治形態を選択する権利を認めようとする理念です。
問9	答え シベリア出兵	1918年、日本はアメリカの呼びかけに応じる形で、チェコスロバキア軍の救出などを名目に軍隊をシベリアへ派遣しました。しかし、期待したほどの成果は上がらず、国内では米価高騰の原因にもなりました。
問10	答え 平塚らいてう	平塚らいてうは、1911年に女性だけの文芸雑誌『青鞥』を創刊し、青鞥社を結成しました。彼女は、理知と感性の両面から女性の目覚めを説き、旧来の家族制度に疑問を投げかけました。
問11	答え 米騒動	1918年、富山県の漁村の主婦たちが米の安売りを求めて運動を起こしました。この動きはまたたく間に全国へ広がり、軍隊が出動するほどの大規模な暴動となりました。
問12	答え マスメディア	マスメディアの発展は「情報の大衆化」を促しました。特に1925年に始まったラジオ放送は、家庭にいながら最新のニュースや娯楽を楽しめる画期的なものでした。新聞や雑誌も発行部数を伸ばし、全国的に同じ情報が共有されるようになりました。
問13	答え 1925	1925年、加藤高明内閣のもとで普通選挙法が制定されました。これにより、それまでの納税額による制限が取り払われ、満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられました。
問14	答え 三・一独立運動	1919年3月1日、ソウルで独立を宣言する集会が開かれたことをきっかけに、朝鮮全土で日本からの独立を求めるデモや集会が繰り広げられました。これは「三・一独立運動」と呼ばれ、日本側は警察や軍隊を出動させて武力で鎮圧しました。
問15	答え シベリア出兵	日本は米の物資輸送などの準備を急いだため、国内の商人たちが米の買い占めを行い、価格が急騰しました。これに苦しんだ庶民の不満が爆発し、日本全国で米騒動と呼ばれる暴動が発生しました。
問16	答え 女性解放運動	平塚らいてうは、文学活動である『青鞥』から出発し、やがて具体的な社会改革を目指すようになります。彼女は、女性の政治参加を認めない制度や、不平等な法律を批判し、参政権獲得などを求めました。これは当時の男性中心の社会に対する真っ向からの挑戦であり、後の社会変革の先駆けとなりました。
問17	答え 四カ国条約	この条約は、日本、アメリカ、イギリス、フランスの4カ国が、太平洋における互いの領土や権益を尊重し、紛争が起きた場合は協議を行うことを定めたものです。これにより日英同盟は正式に解消されました。
問18	答え 西光万吉	西光万吉は、1922年に京都市で開かれた全国水平社の結成大会において指導的役割を果たしました。彼が中心となって作成された「水平社宣言」は、被差別の人々が被害者としてではなく、人間として対等な権利を持つことを力強く訴えました。
問19	答え 生存権	1919年に制定されたワイマール憲法は、個人の自由だけでなく「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」である生存権を初めて明記しました。また、男女平等選挙権や労働者の権利など、極めて進歩的な内容が盛り込まれていました。
問20	答え 十四か条の平和原則	1918年、アメリカ合衆国のウィルソン大統領は、平和の維持には秘密外交の廃止や軍備縮小、国際的な協調が必要であると、14項目からなる平和の原則を発表しました。この中には、平和のための国際組織の設立や、民族自決の原則が示されています。
問21	答え ベルサイユ条約	1919年にフランスのベルサイユ宮殿で締結された条約です。ドイツに対し多額の賠償金と領土の割譲を命じたほか、軍備を大幅に制限しました。また、平和を守るための国際機関である「国際連盟」の設立もこの条約で決められました。